



Press Release

Tokyo, Japan, June 2016

ゲティンゲグループ・ジャパン株式会社

GE ヘルスケア・ジャパン株式会社

ゲティンゲグループ・ジャパンと GE ヘルスケア・ジャパン、 ハイブリッド手術室向けの新たな統合ソリューションを提案 ～自走式血管 X 線撮影装置の新製品「Discovery IGS 730 ASSIST」と 多目的手術台「マグナス手術台」により、手術室の高稼働率を実現可能に～

ゲティンゲグループ・ジャパン（本社：東京都品川区 代表取締役社長 山下秀明）と GE ヘルスケア・ジャパン（本社：東京都日野市 代表取締役社長兼 CEO：川上潤）は、カラム手術台システム「マグナス手術台」と自走式血管 X 線撮影装置「Discovery IGS 730 ASSIST（ディスカバリー・アイジーエス 730 アシスト）」で構成される、外科手術とカテーテルによるインターベンションのための統合システムを、ハイブリッド手術室への新たな統合ソリューションとして、6月10日より販売開始します。

心疾患は、年齢が高くなるにつれて死亡率が増加傾向にあり^{*1}、現在急速に進んでいる高齢化により、心血管疾患率も増加していくことが予想されます。また近年のイメージングサポートの進化、および先天性心疾患へのインターベンション技術の発展により、低侵襲治療が適用できる手術が拡大し、ハイブリッド手術室の導入が近年急速に進みました。外科手術、インターベンション、低侵襲治療のために必要な機器がハイブリッド手術室に導入されたため、ゲティンゲグループ・ジャパンは手術室としてのスペース、機器やスタッフのレイアウト、天吊りされる機器やヘパフィルターのポジションの確保、層流^{*2}の保持にこだわり、多様な手術やインターベンションを取り入れつつもその稼働率を確保する努力をしてきました。

*1:性・年齢階級別にみた主な死因の構成割合（厚生労働省 人口動態統計月報年計（概数）の概況）より
(<http://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/jinkou/geppo/nengai14/dl/gaikyou26.pdf>)

*2: 手術室内を清潔に保つために、術台上部の空調吹き出し口より吹き出される清浄空気

ハイブリッド手術室のために開発された GE ヘルスケアの自走式「Discovery IGS 730 ASSIST」とゲティンゲグループの「マグナス手術台」の統合システムの導入により、これまでハイブリッド手術室で積極的に行うことができなかった多様な手術、緊急手術等を実施できる可能性が広がります。さらには低侵襲治療に最適な環境を提供することで、低侵襲治療の促進ができ、在院日数の低減、ルームシェアによる装置費用の削減、最新治療ができる環境整備での人員確保など、これまで病院が抱えていた課題が解決し、病院経営にとって様々なメリットをもたらします。このたびゲティンゲグループ・ジャパンと GE ヘルスケア・ジャパンが提供する統合システムは、このような病院が抱える臨床、生産性、経営の課題を解決に導くソリューションとして期待されています。

効率的利用のための多目的ソリューション

「Discovery IGS 730 ASSIST」の際立った特徴は、高精度画像技術に加え、その独特の可動性にあります。レーザーガイド下の可動性ガントリーで、医療チームに十分な患者アクセスをもたらすためにあらかじめ設定した複数のポジションに移動、手術台から完全に退避することができます。手術室内で縦横自在にカスタマイズ可能な固定場所を実現し、左右どちらのアクセス処置中でも優れた患者アクセスを実現します。また、自走式であるため天吊りレールが不要となり、層流を妨げることがなく、天吊り機器との干渉も最小限となります。さらに「Discovery IGS 730 ASSIST」は、高品質の血管 X 線撮影装置が持つすべての特性も備えています。2016 年 4 月に発売を開始した「IGS 520/530/540 ASSIST (アイジーエス 520/530/540 アシスト)」と同じ新しい最高水準^{*3}の DQE (Detective Quantum Efficiency : X 線を画像に変換する効率を表す指標。当社比。) を備えたフラットパネルを搭載、画質改善及び 3D サポート機能の充実を実現、カテーテルベースの複雑な低侵襲治療をサポートします。さらに、ステントグラフト挿入術用のプランニングソフトウェア「FlightPlan For EVAR」、TAVI^{*4}用の「TAVI Analysis」等治療に特化した術前のプランニングサポート用ソフトウェアを搭載したことで、シンプルな血管計測をサポート、CT 画像と透視画像とのフュージョン画像をより使いやすいものにし、造影剤や被ばくの低減を目指します。

*3:当社比較

*4:大動脈弁狭窄症に対する新たな治療法。開胸手術や心臓を止めることなしに、カテーテルを使用して人工弁を心臓に留置する低侵襲治療。

「マグナス手術台」は、外科医とインターベンション医の多くの要求を満たす本格的な多目的手術台です。最大 150 mm/秒でスライドするテーブルスライドによりカテーテルによるインターベンションの手技の間、迅速かつ精密な移動が可能となります。さらに手術に応じて選択可能なテーブルトップにより、外科手術のための診断・治療手段のさらなる拡大が可能となります。

「Discovery IGS 730 ASSIST」のガントリーの可動性と「マグナス手術台」の患者位置決め性能とを組み合わせることで、多くの専門分野にわたる外科的インターベンションに手術室の使用が可能となることが期待されます。さらに、ハイブリッド手術室は、テーブルトップがユニバーサル型であるため、通常の手術室のプログラムにおいても使用することができ、高い設備稼働率が病院にもたらされます。

Getinge Group Japan K.K.
SPHERE TOWER TENNOZ 23rd Fl.
2-2-8 Higashi Shinagawa
Shinagawa, Tokyo 1400002 Japan

www.getingegroup.com

MAQUET
GETINGE GROUP

ARJOHUNTLEIGH
GETINGE GROUP

GETINGE
GETINGE GROUP

英国の南マンチェスター大学病院 NHS (University Hospital of South Manchester NHS, UK) の血管外科医である ジョナサン・ゴースエイ氏 (Dr Jonathan Ghosh, Vascular & Endovascular Surgeon) は以下のように述べています。

「Discovery の導入で、従来の外科用 C アーム装置より複雑な治療に踏み込み、より治療困難な患者さんへの治療にも対応できるようになりました。これまでにハイブリッドの手術として、当院では複雑な腫瘍の摘出術と塞栓術の同時施行や、段階的に血管内治療や手術の施行等を実施してきました。今回、使いやすい透視画像と術前 CT のフュージョン機能を搭載した、この新しい統合されたシステムを導入したことにより、複雑な低侵襲治療も実施できるようになりました。さらに、多目的のマグナス手術台テーブルトップを活用することで、多様な手術に対応することができます。結果として、私たちのワークフローはより効率的になりました。画質も従来のものに比べ非常に優れているといえます。」^{*5}

*5：ご使用施設からのご意見であり、仕様を保証するものではありません。

ハイブリッド手術室のトレンドセッター

ゲティンゲグループ・ジャパンは、この数年で約 140 台もの統合システムを医療機関へ導入した実績を持ちます。複雑なプロジェクトの企画に加え、ハイブリッド手術室に関するゲティンゲグループ・ジャパンのポートフォリオには、その独自の開発および上記プロジェクトの実現に必要な生産ユニットや、モジュール式手術室用ウォール VARIOP、手術用照明器、シーリングサプライユニット、麻酔システム、人工心肺装置から OR インテグレーションまでの様々な製品が含まれます。

■製品概要

・販売名 : 多目的 X 線撮影システム Discovery

・医療機器認証番号：225ACBZX00006000

*Discovery IGS 730 ASSIST は、多目的 X 線撮影システム Discovery の類型 IGS 730 に StentvesselViz とハイコントラスト透視を搭載したものです。

・販売名 : アドバンテージ ワークステーション

・医療機器認証番号：20600BZY00483000

製造販売業者：GE ヘルスケア・ジャパン株式会社

・販売名 : マグナス手術台 埋込型 1180

・製造販売届出番号：13B1X00176SW0021

製造販売業者：ゲティンゲグループ・ジャパン株式会社

Getinge Group Japan K.K.
SPHERE TOWER TENNOZ 23rd Fl.
2-2-8 Higashi Shinagawa
Shinagawa, Tokyo 1400002 Japan

www.getingegroup.com

MAQUET
GETINGE GROUP

ARJOHUNTLEIGH
GETINGE GROUP

GETINGE
GETINGE GROUP

GE ヘルスケアについて

GE ヘルスケアは、より多くの人々に身近で質の高い医療をお届けするため、先進的な医療技術並びに医療・研究機関向けの各種サービスの開発・提供にグローバル規模で取り組んでいます。世界が直面する困難な課題解決に取り組む GE のヘルスケア事業部門として、画像診断機器やソフトウェア開発、ヘルスケア IT をはじめ、生体情報モニター、メディカル・ダイアグノスティクス(体内診断薬)、創薬、バイオ医薬品、医療機関の経営支援まで、幅広い分野にわたる専門性を駆使しながら、患者さんに高品質でより安全な医療を提供することを支援しています。

詳細については <http://newsroom.gehealthcare.com> をご覧ください。

ゲティンゲグループについて

ゲティンゲグループは、手術室、集中治療室、病棟、滅菌部門、介護施設、ライフサイエンス関連企業ならびに公共施設向けに革新的ソリューションを提供する世界有数のグローバルプロバイダーです。生命に対する真の情熱をもって、ゲティンゲグループは、高品質で安全安心なシステムを皆様にご提供いたします。ゲティンゲグループのユニークな価値提案は、クリニカルパス全体におけるケアの継続性や効率性の強化が反映されています。直接的な経験と緊密なパートナーシップに基づいて、ゲティンゲグループは、お客様の期待を凌駕しながら、人々の生活を今日そして未来において改善できる製品やソリューションをお届けいたします。

詳細はこちらをご覧ください。 www.getingegroup.com.

お問い合わせ先

GE ヘルスケア・ジャパン株式会社
コミュニケーション本部
ブランチャード美津子
Phone: 0120-202-021

ゲティンゲグループ・ジャパン株式会社
マーケティング&コミュニケーション本部
金子 洋介、栗原 香小梨
Phone: 03-6863-5122
E-mail: MJKK.INFO@maquet.com

Getinge Group Japan K.K.
SPHERE TOWER TENNOZ 23rd Fl.
2-2-8 Higashi Shinagawa
Shinagawa, Tokyo 1400002 Japan

www.getingegroup.com

MAQUET
GETINGE GROUP

ARJOHUNTLEIGH
GETINGE GROUP

GETINGE
GETINGE GROUP